



2023年10月31日

各位

会社名 株式会社王将フードサービス
代表者名 代表取締役社長 渡邊 直人
(コード番号: 9936 東証プライム)
問合せ先 常務取締役執行役員
管理本部長 稲垣 雅弘
電話番号 075-592-1411

2024年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月15日に公表しました2024年3月期第2四半期累計期間(2023年4月1日～9月30日)の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、通期業績予想につきましても下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異及び業績予想の修正について

(1) 2024年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値の差異

(2023年4月1日～2023年9月30日)

(連結)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,042	3,855	3,981	2,616	139.12
今回実績値(B)	49,744	4,988	5,122	3,896	207.15
増減額(B-A)	1,702	1,132	1,141	1,280	-
増減率(%)	3.5	29.4	28.7	49.0	-
(ご参考)前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	45,136	3,820	4,856	3,072	163.50

(個別)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,862	3,974	2,609	138.78
今回実績値(B)	49,550	5,110	3,884	206.51
増減額(B-A)	1,688	1,135	1,275	-
増減率(%)	3.5	28.6	48.9	-
(ご参考)前年同期実績 (2023年3月期第2四半期)	45,015	4,873	3,092	164.53

(2) 2024年3月期通期業績予想数値の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）
（連結）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	98,320	8,167	8,386	5,388	286.54
今回修正予想(B)	101,394	9,300	9,527	6,669	354.35
増減額(B-A)	3,074	1,133	1,141	1,280	-
増減率(%)	3.1	13.9	13.6	23.8	-
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	93,022	7,981	9,140	6,213	330.50

（個別）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	97,958	8,371	5,373	285.75
今回修正予想(B)	101,018	9,506	6,648	353.27
増減額(B-A)	3,060	1,135	1,275	-
増減率(%)	3.1	13.6	23.7	-
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	92,709	9,145	6,219	330.85

2. 差異及び修正の理由

2024年3月期第2四半期（累計）の業績は、昨年5月と11月に実施した価格改定による客単価の上昇効果に加え、客数が前年を大幅に上回ったことなどにより、店内飲食売上が大きく伸びるとともに、テイクアウト&デリバリーも引き続き好調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同期実績比10.2%の増収となり、前回発表した予想数値も3.5%上回りました。

利益面では、前年を上回る原材料や包材の単価上昇等があったものの、前述の増収効果に加え、「忘れられない中華そば」等の高付加価値商品の販売による粗利率の上昇や水道光熱費増加の抑制等により、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績比で大幅な増益となり、前回予想も大幅に上回る結果となりました。

上記を踏まえ、2024年3月期の通期業績予想につきましては、前回発表した予想に対し、上期を好調な実績値に置き換えるとともに、下期については、本年10月17日に実施した一部商品の価格改定を売上高に、原材料価格等の下期上昇分を原価に反映させる修正を行いました。下期も上期同様に好調な業績を見込んでおりますが、緊張する世界情勢等による先行き不透明な経営環境に鑑み、下期営業利益を前回発表予想に据え置いた上で、通期業績予想の上方修正をいたしております。

なお、原材料価格等が想定を大きく超えて上昇するなど、事業環境が悪化することも予想されます。当社グループは今後とも業績の一層の向上に努めてまいります。事業環境に大きな変化が生じた場合には業績も大きく変動する可能性があるため、業績予想の修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上